

2014-2015

第834回例会 2014年10月6日(月)



福山赤坂ロータリークラブ週報

会 長	谷口宏樹	副会長	今川忠男	例会場 / 事務局	福山市赤坂町赤坂 1276 一心ビル 3F
幹 事	眞田奈津基	副幹事	岩永光司	TEL	(084)920-4141 FAX(084)920-4140
会 計	佐藤 貢	S A A	吉元友浩	E-mail	far-co@aurora.ocn.ne.jp



Light Up Rotary

2014-15 国際 RI 会長
ゲイリー・C.K.ホアン氏

創立記念例会

福山ニューキャッスルホテル



1996-97 年度会長 眞田惣行（創立会長）



- 点 鐘 谷口宏樹 会長
- ソ ン グ [君が代] [奉仕の精神]
- 会長挨拶
- プログラム パスト会長によるスピーチ



2000-01 年度会長 藤原美則 名誉会員

「福山赤坂ロータリークラブ創立 18 周年を迎えて」

福山赤坂ロータリークラブ創立 18 周年おめでとうございます。先般、谷口会長より、この記念例会でパスト会長として 5～6 分の話をするように依頼がありましたので少し時間をいただきます。クラブ創立から認証伝達式（チャーターナイト）までのことは昨年お話をさせていただきましたので、

本日はロータリアンとして大切な別のことについてお話をさせていただきます。

ロータリアンには「会費の納入・例会への出席・ロータリーの友の購読」の三つの義務があります。この中から、出席についてお話をしましょう。

【出席の一般規定】 出席は会員の最小限の奉仕であり、欠席はロータリー会員の資格放棄をしたことになります。（出席は例会時間の少なくとも 60%）半年にメイクアップも含めて 50%以上欠席・半年に所属クラブに 30%以上欠席すると、理事会が認めない限り退会になります。連続欠席すると

（以前）連続 4 回欠席→自然退会

（2001）連続 4 回欠席→退会希望とみなし→理事会で検討・決定

【出席率の向上】（出席奨励）

100%デーの実施 実施に当たっては委員会で協議・決議のこと

委員長だけでなく、委員会メンバーの強い決議・100%出席が必要

メイクアップ（出席補填）他のクラブの例会に出席する

（以前）前後一週間 （1998）前後 2 週間

（1998）理事会承認の「奉仕プロジェクト」・理事会

（免除規定については時間の都合で割愛）

終わりに、私は創立以来 2013 年 6 月 25 日（779 回）まで全出席、以後は名誉会員として出席しています。



2002-03 年度会長 杉原康生

「創立時の思い出と私の思い」

私が入会する前のロータリークラブの印象は、一流企業、・会社の経営者や専門職の方々の集まりの会だと思っていましたので、私のような者が入る会ではないという思いがありました。福山赤坂地区にロータリークラブが出来るということになり、眞田創立会長が松永ロータリークラブ(現スポンサークラブ)で幹事の時の小林博会長のお誘いがあり、色々考え、まず妻・会社にて了承をとりました。私の伯父もロータリアンで、「入会するならライオンズクラブよりはロータリークラブだよ」という話はよく聞いていました。同級生のロータリアンにも相談しましたところ、創立会員になるのは凄い事なのだとか背中を押され、何が凄いのか分からないまま入会することを決断しました。創立会員での 27 番目の入会でした。その時の会長が眞田惣行さん、幹事が佐藤和美さんで、テキパキと色々な事を処理され、雲の上のような人に思いました。ロータリークラブの役員は一年毎に代わるとしても、自分が会長をするのは 27 年先になると思っていましたが、世の中自分の思った通りにはいきません。

ロータリークラブでは「指名されたら断ってはいけない、恥をかくのは内のクラブで、よそでは恥をかかないように経験し、勉強しなさい」という事が言い習わしになっており、7 年目の 2002~2003 年度に会長、2010~2011 年にはガバナー補佐をさせて頂きました。お陰様で多くの友人・知人が出来、良い経験をさせて頂きました。

ロータリーで勉強し、また会員の皆様に色々教えて頂こうと思って入会したので、出席が楽しくて、一回欠席したら損になるような気持ちになります。会員の皆さんとお会いするのが楽しみで、例会が私にとって一番落ち着くところです。これからも体力の続く限り、若い会員の皆様のエネルギーを受けながら会員を続けていきたいと思っています。「たかがロータリー、されどロータリー」をこれからも楽しみます。



2004-05 年度会長 神原一省

「クラブ創立記念日にあたって」

平成 8 年 1996 年にこのクラブが創立して 18 年、過ぎ去ってみればあつという間のことのように思えます。私は平成 16 年~17 年 2004~2005 年度、第 9 代目の会長を務めさせて頂きました。10 年前のことで、細かいことを忘れておりますが、この年度の RI 会長はグレン・E・エステス・シニア氏、2710 地区ガバナーは松本茂太郎さんで、ガバナー補佐は福山ロータリークラブの薮田祐一さんでした。国際ロータリーが誕生したのが 1905 年で 2005 年が 100 周年ですが、その直前の年に日本の大阪でロータリー国際大会が開催されたのを思い出します。何か国、何万人が集まったのか分かりませんが、大阪・京都のホテル・交通機関などが、ロータリー一色になって、盛大な大会だったのが印象的でした。実行委員長は茶道の家元・千玄室氏で大阪ドーム球場の会場ぎっしりとロータリアンが埋め尽くして式典が行われました。その時、福山赤坂 RC も何か国かのロータリークラブとバナー交換して、それがうちのクラブにもある筈です。こうした大会はロータリー活動の一大報告大会のようでもあります。大勢の参加者がその内容に対して大きく感動すれば、それで大会の目標は達成して成功といえるんだと、「ロータリーの友」に書いてありました。

地区大会でも、IM でもそうですが、残念なのは出席参加者が少ないということです。参加もせず、感動もせずでは、日々のロータリーも、モチベーションも上がらないのではないかと、勢い普段の例会も、出席率も上がらないのではないかと、悪循環が心配です。入会 3 年未満の人には、地区大会や IM は出席が義務として続いていたのですが、最近は役員・委員長以外は出席の必要なしと逆の判断をされる人が多いような気がします。積極的に出席参加してロータリーの良さを感じてもらって、クラブを活性化させていきましょう。せっかく縁あって入会したロータリーですから。創立記念日にあたってこんな事を考えました。



2011-12 年度会長 徳永雅俊
「創立記念によせて」

私は 15 周年の会長をさせて頂きましたが、その際 R I 会長・ガバナーのテーマが「こころ」をキーワードにされていたので、クラブのテーマを「こころを込め更なる赤坂らしさを求めて」とさせて頂き 1 年間活動してまいりました。このテーマの目的は、今まで諸先輩の方々が築かれてこられたこの福山赤坂ロータリークラブの良い所を更に磨き、輝かせ次の 20 周年が当クラブにとって更に赤坂らしいクラブとなるようにという思いからです。それを実現させる試金石となる年度と考えた私は、大きく 3 つのテーマを掲げ行動してまいりました。

まず 1 つ目は、例会をハッピーエンドのドラマの様な演出となる様心掛けたことです。私が思うハッピーエンドのドラマといのは、こころに余韻が残り、勇気がもらえ、見て良かったと思うドラマでそれを例会で演出する為に、卓話者の方を、誰に、どのような話をして頂くか？など、例会に来て良かった、為になる話が聞けたなど、例会に来て良かったと思って頂ける様工夫して来ました。もちろん、会長の時間は特にメンバーの方々に響く様こころを込めてご挨拶させて頂きました。

2 つ目は、今では当クラブの看板事業になっている「善行表彰」を、メンバーおひとり、おひとりに今まで以上に誇りに感じて頂く事業する為に活動してまいりました。済美中学校、赤坂小学校の先生方に「善行表彰」の目的、意義を更にご理解頂く為に努力し、活動した結果とても感動的な表彰式を行うことができました。それは、済美中学校の女子生徒さんが、最近母親を亡くなられたにも拘わらず、兄弟のお弁当を毎日作ったりクラブ活動も休まず続け、学業も優秀なそんな生徒さんを表彰することが出来ました。その様な生徒さんに、スポットを当てて頂いた担任の先生に敬意を表すると同時に、頑張っている人をみんな見ているよというメッセージを送ることが出来とても良かったと思いました。これこそが、私のやりたかった事業であり、メンバーの皆さんにこころから誇りと感じて頂ける事業を行うことが出来たと確信しております。

そして最後の 3 つ目こそが、更に赤坂らしさを創造するのに必要なことと思ひ、20 周年までに会員数を 60 名するという事をクラブの中期目標とさせて頂きました。その為に、クラブ協議会を開催しメンバーの方々に増強の目的、意義をご理解頂き、また増強の仕方をご説明させて頂きました。クラブの中期目標とさせて頂いたことで、その年度会長も会員増強に力を入れて頂き、その目標達成の為に頑張っておられます。以上の様な 3 つの大きなテーマを掲げ活動してまいりましたが、やはりこれからの福山赤坂ロータリークラブのあるべき姿は、アメリカ大統領ジョン・F・ケネディーの言葉を引用させて頂くならば、ロータリーがメンバーの皆さんに何をしてくれるのかではなく、メンバーである皆さん一人、一人がロータリーに何が出来るかを考えられる、そんな大人のクラブへと磨き、輝かせることがこれからの福山赤坂ロータリークラブあるべき姿だと考え 1 年間活動してまいりました。



2012-13 年度会長 佐藤 貢
「創立記念によせて」

私は 2002 年 8 月 6 日、福山赤坂ロータリークラブに入会をさせて頂きました。

当時の会長は杉原康生さんでした。面接に来られ、「あまり堅苦しく考えなくて、気楽に例会に出て来たらいい。みんな気さくな人ばかりだから」と緊張と不安でいっぱい私を導いて下さいました。

入会して 3 年目、神原会長の時に、新世代奉仕委員長に任命されました。ロータリーでは「頼まれたら NO！と言っはいけない」とよく言われていましたので、何をしたいかわからないままとりあえず引き受けました。分からない事があれば、会長、幹事、先輩の皆さんが教えてくれるから、と言って下さったので。

しばらくして、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)が江田島であるから出席してくれとの依頼を受けました。ライラ？何ですかそれ？行って何をしますのですか？ひとりで？入会してまだ 2 年しか経っていない私にどうしろと…と、そう思って行きましたが、イベント・記念講演が終わって、校内の見学、広島湾の体験航海等があり、日帰りでしたが、有意義な経験をさせて頂きました。ですから、入会歴の浅い会員の人も、何も分からなくても、とりあえず参加をしてみして下さい。自分で経験をする事がロータリーを理解する一番の近道だと思います。

クラブの会員数は 35 人位で推移しておりましたので、もし万が一会長の声がかかるとしても、20 年以

上は先だろうと考えていました。

福山赤坂クラブでは、会長になる人は、4年前に副幹事をやって、幹事、副会長、と経験を積んで会長になるというシステムがあります。

副幹事の話が来たのが6年目の地区大会の時だったように思います。先輩の方々も多くおられ、当然まだ先と聞いていたので、大変戸惑いました。しかし話が来た時が、その時期なのだと思います、4年あれば何とかなるだろうと、えいやあ！で受けさせていただきました。

会長を務めた1年間（2012～2013）は、通常の会運営の他に、予期していなかった事が沢山ありました。米山奨学生 張さんの支援。選ばれた人だけあって真面目でしっかりした学生でした。

松永クラブに米山奨学生の卓話で一緒に行った時の事です。持参のUSBメモリと借りたパソコンの相性が悪く、最初からパソコンが固まって動かなく、張さんが言葉に詰まって下を向き泣き出してしまいました。すぐに私も前に出て、話を続けたのですが、松永クラブの皆さんの温かい思いやりに救われました。そして次の例会も元気に笑顔で出席してくれたので、安心しました。

そして一番の思い出は、東京赤坂ロータリークラブとの姉妹縁組です。20周年までに、との事で話が合ったわけですが、トントン拍子に話が進み、当年度中に調印式を行う事になりました。2013年6月8日、ホテルいんのしまにおいて、調印式が執り行われました。福山赤坂ロータリークラブの会員の力を集結し、一丸となっておもてなしの心で、成功裏に行う事が出来ました。

これにより、福山赤坂クラブとして達成感の中、より絆が深まったのではないかと思います。

以上のようにほとんど初めての事ばかりで、緊張感の中、一年を過ごしてきました。

その中で実感したのは、ロータリーの事について、知らな過ぎるという事でした。

幹事になってその都度勉強し、会長になって初めて必要に迫られたこともあり、細かいところまで勉強しました。しかしまだまだ知らない事も多くあります。

特に入会3年未満の会員の皆さんは、まずは自分の所属する委員会が何をするとところなのか、その目的は何なのかを知っておくことが大切だと思います。そしてIMなどの勉強会には是非参加してロータリーの造詣を深めて行く事によって、ロータリアンとしての自覚や自信が出てくるものと思っています。

これからも福山赤坂ロータリークラブの一員として、楽しく活動していきたいと思っています。

●謝辞 今川忠男 副会長

●出席報告

本日出席率 72.5%

（出席者29名 欠席者11名 出席免除者4名）

前々回修正出席率 82.5%

（メイクアップ2名）

●スマイルBOX

◆誕生日祝

岩永光司さん(10/1) 谷口宏樹さん(10/24)
桑田真由美さん(10/2) 吉元友浩さん(10/2)

◆奥様誕生日祝

武郷美子さん(10/9)





次回例会	10月13日祝 休会
次々回例会	10月19日(日) 地区大会